

明姫幹線南地区まちづくりだより

第5号 / 2001.4.2

発行 明姫幹線南地区まちづくりを考える会
事務局 高砂市役所都市整備部計画課

「明姫幹線南地区まちづくり協議会」 設立総会にご参加ください！！

桜花咲く頃、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、明姫幹線南地区では平成12年夏に自治会長・農会長を中心とした24人で「明姫幹線南地区まちづくりを考える会」を結成し、懇談会を通じて皆様のご意見を伺いつつ、地域の問題やまちの将来について話し合っていました。このたび、皆様一人ひとりをメンバーとする「まちづくり協議会」を設立し、地域一丸となつての取組みを進めることになりました。

つきましては、下記の通り設立総会を開催したいと存じますので、ご多忙中とは存じますが、お繰り合わせの上、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

日時：平成13年5月13日（日） 午後1時30分から
場所：竜山中学校 体育館
内容：議 題

第1号議案 明姫幹線南地区まちづくり協議会規約について

第2号議案 役員の選任について

第3号議案 事業計画、収支予算について

住民懇談会

・明姫幹線南地区のまちづくり構想について（樋口都市設計 樋口信子）

明姫幹線南地区の
まちづくり構想
(たたき台)を発表！

○ お 願 い

会場準備の都合がありますので、4月20日までに同封の葉書にて設立総会への出欠報告をお願いします。（葉書の返送は全員お願いします）

設立総会を欠席される方は、「まちづくり協議会の設立」について、「同意します・同意しません」のどちらかに「○印」を、「同意されない場合」は、「理由」をご記入願います。

「まちづくり協議会」は、まちの将来像について広く土地所有者等の皆様のご意見を伺いながらまとめていき、その後に事業手法を考える場であり、既に事業手法（例えば土地区画整理事業）が決まっているものではありません。

明姫幹線南地区まちづくり協議会 設立趣意書

明姫幹線南地区は、皆様や諸先輩方のご努力により圃場整備がおこなわれ、竜山の自然風景と共に、緑豊かな田園地帯として親しまれてきました。

しかし、近年の都市化の進行や交通の利便性、さらに農業後継者の不足などにより、農地の転用が進み、住宅や資材置き場、作業所等の混在が目立つようになり、土地利用や環境面等に対して様々な問題が生じてきました。

さらに、地域住民の方々には、それぞれ土地の利用方法について様々な思いがあり、このままの状態が進むにつれて、問題がより深刻化することが懸念されます。

われわれが先祖代々受け継いだこの地域を、快適で、和やかに住み・働き・学べるまちにしていきたいものです。

そこで、行政や専門家の支援を受けつつ、明姫幹線南地区のまちづくりに対して、私たち自身で主体的に取り組んでいきたいと考えます。

このため別添の規約(案)・役員(案)・事業計画(案)・収支予算(案)に基づく「まちづくり協議会」を設立したく存じますので、皆様方のご理解、ご協力をお願いいたします。



平成 13 年 4 月吉日

明姫幹線南地区まちづくりを考える会

発 行：明姫幹線南地区まちづくりを考える会

事務局：高砂市都市整備部計画課 TEL：0794-43-9033

FAX：0794-43-9091

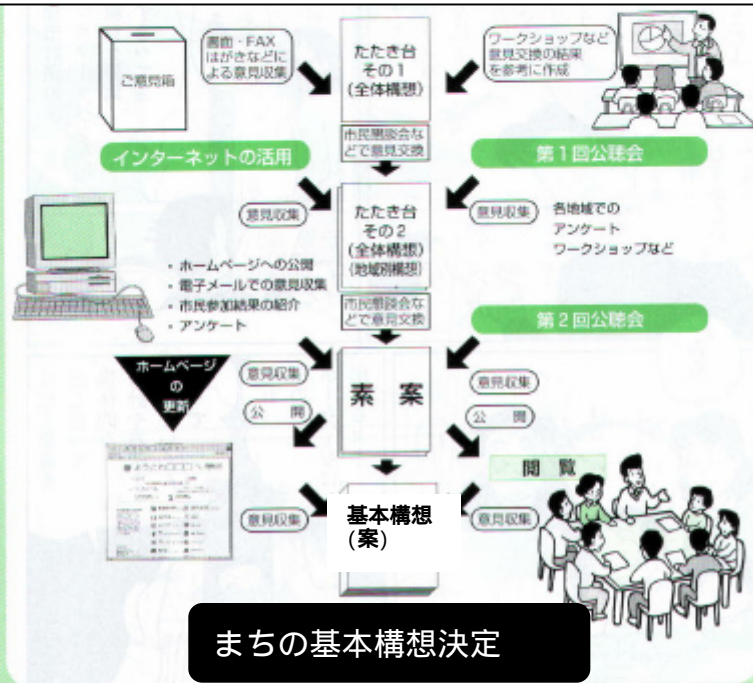
e-mail：tact3810@city.takasago.hyogo.jp

● 基本構想の内容

基本構想の内容と構成は、特に法律では定められていませんが、たとえば、次のようなものを含めることが考えられます。

- ・都市構造、都市空間の形成、基本的な考え方
- ・土地利用、施設整備などの方針
- ・地区内の自然環境の保全
- ・良好な都市環境の形成
- ・誘導すべき建築物の内容
- ・整備すべき諸施設
- ・緑地空間の保全・創出
- ・景観形成などの指針

● 基本構想策定までの住民参加の流れ(例)



。まちの基本構想をつくらう

みんなで基本構想をつくらう

地域住民が自らの意見を出し合い、まちづくりの方針、将来目標などを基本構想（指針）としてまとめていくことが大切です。

基本構想そのものは、土地利用について拘束力を持つものではなく、具体的な土地利用を考えるにあたっての指針です。まず、基本構想によって、まち全体の将来的な構想を立て、これに沿って具体的な内容を決定・実現していくことでバランスのとれた優良なまちづくりが可能になります。

基本構想作成にあたっては、多くの住民の方々に積極的に参加いただくことは、よりよいまちづくりを進めるうえで大きな力となります。

住民参加の方法

まちの基本構想策定にあたっての住民参加は、地域の住民たちで「まちづくり協議会」を作り、多くの方々が自由に意見を出し合ってまとめていく方法がよく行われています。

その他、アンケート調査の実施、意見や要望をEメールで申し出る方法などもあります。

「自分たちのまちは、自分たちで考える」という意識を持つことが大切です。

